

発行 石川県社会教育協会

事務局 〒921-8105

金沢市平和町1丁目3-1

石川県平和町庁舎内

TEL (076) 223-9583

発行人 会長 新村 健了

第 23 号

平成 25 年 7 月 31 日 発行

# せってん

今年の三月までの二年間勤めた金沢泉丘高等学校は、石川県内で通信制課程をもつ唯一の公立学校です。これまで通信制課程に関わった経験がない私にとっては分からないことばかりでしたが、そのシステムの複雑さに戸惑いながらも、通信制課程の在り方について考え、また、その大切さを痛感してきました。

今年度の三月までの二年間勤めた金沢泉丘高等学校は、石川県内で通信制課程をもつ唯一の公立学校です。これまで通信制課程に関わった経験がない私にとっては分からないことばかりでしたが、そのシステムの複雑さに戸惑いながらも、通信制課程の在り方について考え、また、その大切さを痛感してきました。

## 高等学校の通信教育について



石川県立生涯学習センター

館長 村澤 勉

は、添削指導（定期的なレポートの提出）と面接指導（日曜日又は月曜日のスクーリング）、その後の試験に合格すれば単位を修得できます。また、ラジオ放送やテレビ放送、その他の多様なメディアを利用した学習も、面接指導の時に認められることもあります。一定の単位数を揃え、卒業要件を満たせば高等学校卒業となります。生徒それぞれ

は、添削指導（定期的なレポートの提出）と面接指導（日曜日又は月曜日のスクーリング）、その後の試験に合格すれば単位を修得できます。また、ラジオ放送やテレビ放送、その他の多様なメディアを利用した学習も、面接指導の時に認められることもあります。一定の単位数を揃え、卒業要件を満たせば高等学校卒業となります。生徒それぞれ

頑張れよと応援していました。生徒の中には、どんな理由があっても娘に高校を卒業させてやりたいと願い、母親自らも入学してくるケースもありました。親子で一緒にスクーリングに出席し、互いに励まし合いながら学習を続けていました。また、何年かかかったものの、遂に苦手とする数学の単位を修得できた年配の方もおられました。今や、「物」から「心」の豊かさや生き甲斐などを求めて、人々の学習ニーズは拡大し、多様化が進んでいます。幾つになっても学びたいという気持ちは大切にしなければなりません。一旦挫折しても、何年後かに再度チャレンジしてくる人もいます。通信教育は、何度でも挑戦し、失敗を繰り返してもあきらめない気持ち育てる最高のシステムになっています。また、学校に来てほつとする空間が通信制課程にあります。豊かな心を育む原点となる教育の場がそこにはあると思います。この四月から生涯学習に関わることになって、改めて通信教育について考える機会を得ることができました。

# 平成25年度事業計画・予算を承認

石川県社会教育協会の平成二十五年度理事会・総会が六月八日（土）午後三時半から県立生涯学習センターで開催されました。最初に新村会長と坂井県生涯学習課長の挨拶の後、当日、出席された木本顧問からは激励の言葉をいただきました。

冒頭、会長より、「地域社会の教育力の弱体化を思うとまだまだ社会教育の果たす役割は大きい」として、「組織体制の充実、行政や諸団体との連携を図り、協会の活性化に努めたい」と発言がありました。

次に総会の前に平成二十四年度石川県社会教育協会功労者表彰が行われ、表彰者八名の内、出席された四名の方々に新村会長から表彰状と記念品が授与されました。（欠席された方々には、後日、事務局から送付させていただきます。）



多くの会員が参加した今年度総会

総会は、議長に盛田理事が選出された後、議事に入り、最初に平成二十四年度の事業報告、収支決算について審議が行われ、いずれも全会一致で承認されました。続いて、規約改正の議事に入り、事務局から改正点の説明があった後、審議が行われ全会一致で承認されました。

次に、役員改選では、新村会長が再任されるなど新役員が次頁のとおり承認されました。改選後は、会長一名、副会長五名、常任理事一名、郡市理事二十名、団体理事十二名、監事二名、そのほか顧問二名、参与八名となっています。

次に、平成二十五年度の事業計画の説明が行われました。

- ① 会誌発行事業
  - ・「せってん」23号
  - ・「接点」61号
- ② 調査研修事業
  - ・「フォーラム接点」
- ③ 県内4地区6カ所  
社会教育功労者表彰事業
- ④ 平成二十六年総会で表彰  
その他
  - ・ 社会教育協会ホームページの充実
  - ・ いしかわビデオ作品コンクール後援
  - ・ 大人の料理教室、お菓子づくり教室（共催事業）
  - ・ 生涯学習県民フォーラムへの協力

- ・ 明るい選挙推進会議への委員参加
- ・ 心の教育推進大会への参加
- ・ マナビイフェア in 本多の森への参加
- ・ 石川県生活学校大会の後援
- ・ 県民大学校能登文化講座への参加
- ・ グッドマナーキャンペーンへの参加
- ・ 生涯学習フェスタ2013への参加
- ・ 資料などの配付、関係事業への案内

また、同時に平成二十五年度収支予算案が説明され、審議の後、いずれも全会一致で承認されました。

最後に事務局より平成二十四年度に活性化検討会で取りまとめた「活性化に関する報告書」の説明があり、その後、参加者から「協会の意欲が読み取れる」、「派遣社教主事の復活を働

きかけたかどうか」、「国の方でも社会教育の見直しの機運があり、公民館等を拠点とした協働体制の確立をと言っている」などの活発な意見がありました。

## 社会教育協会会員の皆様へのお知らせ

石川県心の教育推進協議会の「グッドマナーキャンペーン」に参加します。

日 時 平成二十五年九月二日（月）

場 所 J R金沢駅構内

集合時間 六時四十分

活動内容 挨拶や公共マナー向上の呼びかけ

会員で参加を希望される方は、八月二十日まで事務局まで連絡ください。

## 平成25年度予算書

一般会計	
収入の部	
科目	予算額(円)
会費	495,000
補助金	470,000
寄付金	0
繰越金	29,095
諸収入	905
合計	995,000

支出の部	
科目	予算額(円)
事業費	695,000
会議費	105,000
事務費	182,000
予備費	3,000
繰出金	10,000
合計	995,000

積立金特別会計	
収入の部	
科目	金額(円)
組換金	502,895
繰入金	10,000
諸収入	100
合計	512,995

支出の部	
科目	金額(円)
事業費	0
合計	0

(三井住友信託銀行積立)

## 平成24年度決算書

収入の部	
科目	決算額(円)
会費	462,000
補助金	470,000
寄付金	0
繰越金	30,377
諸収入	78
合計	962,455

支出の部	
科目	決算額(円)
事業費	686,706
会議費	90,960
事務費	131,054
積立金	10,000
諸費	14,640
合計	933,360

次年度繰越金 29,095円

講演会開催

昨年度の小松市での講演会に引き続き、今年度は、七鹿社会教育協会創立5周年記念として七鹿社会教育協会の総会にあわせて七尾サンライフプラザで講演会を実施しました。この事業は、県教育委員会からの支援のもと、石川県社会教育協会研修事業として県社会教育協会及び七鹿社会教育協会の主催により開催したものです。

講演は、演題を「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい」として「サザエさん」のマスオさん役でお馴染みの人気声優の増岡弘氏を講師に迎えて行いました。

会場では多くの会員や市民の方々が参加し、ユーモアあふれる講師の話しに会場から笑い声が漏れるなど、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



会員や七尾市民が参加した講演会

平成二十五年度  
二十六年度

社会教育協会・役員一覧 (○印は新任)

顧問

参与

会長  
副会長

常任理事  
郡市理事

- |               |              |             |              |             |
|---------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 本名 利夫 (県議会議員) | 濱田 繁 (鹿島郡)   | 新田 健了 (県教委) | 上田 政憲 (加賀市)  | 堀岡 啓吾 (七尾市) |
| 奥名 洋明 (前会長)   | 宮田 一男 (七尾市)  | 村澤 勉 (県生涯セ) | 梅田 和秀 (金沢市)  | 蔵 定伸 (鹿島郡)  |
| 小寺 昭久 (前副会長)  | 山岸 善二 (白山市)  | 谷村 昭雄 (県公連) | 山本 敏久 (七尾市)  | 林 榮一 (羽咋郡)  |
| 坂井 芳子 (県教委)   | 道端孫左衛門 (金沢市) | 勝木 育夫 (小松市) | 土室 完 (金沢市)   | 川口 絹子 (羽咋市) |
| 旭 直樹 (加賀市)    | 山本 逸子 (金沢市)  | 清丸 亮一 (小松市) | 山本 武之 (金沢市)  | 坪内 健一 (河北郡) |
| 廣橋 賢 (羽咋郡)    | 小原 晴樹 (金沢市)  | 前田 英夫 (能美市) | 本多 郁夫 (野々市市) | 坂本 清 (かほく市) |
| 堀岡 啓吾 (七尾市)   | 堀岡 啓吾 (七尾市)  | 盛田 義弘 (白山市) | 山本 武之 (金沢市)  | 堀岡 啓吾 (七尾市) |
| 竹野 博正 (鳳珠郡)   | 堀岡 啓吾 (七尾市)  | 白村 浩邦 (小松市) | 山本 武之 (金沢市)  | 堀岡 啓吾 (七尾市) |

郡市理事

団体理事

監事

幹事長  
幹事

- |                    |               |                    |              |                  |
|--------------------|---------------|--------------------|--------------|------------------|
| 左古 隆 (輪島市)         | 大島 淳光 (県PTA連) | 川部 謙三 (生涯学習センターの会) | 谷内 正樹 (県教委)  | 池本 藤祐氏 (協会役員十六年) |
| 成之坊良輔 (珠洲市)        | 宮 義一 (県青協)    | 山本 紀子 (講師の会)       | 石江 政信 (県公連)  | 林 よし枝氏 (協会役員十五年) |
| 浅田 秀雄 (県図書館協)      | 野田 政弘 (BS県連)  | 村戸 建二 (生涯学習センター)   | 安達 俊夫 (県生涯セ) | 山田 二郎氏 (協会役員十四年) |
| 浅野 秀重 (金大地連セ)      | 野田 政弘 (BS県連)  | 村上 吉郎 (宝達志水町)      |              |                  |
| 正木 明 (県子連)         | 野田 政弘 (BS県連)  | 森澤 哲雄 (県生涯セ)       |              |                  |
| 岩本 弘子 (県児童館連)      | 野田 政弘 (BS県連)  | 木原 宗信 (前監事)        |              |                  |
| 林 貴江 (県新生活協)       | 野田 政弘 (BS県連)  | 石江 政信 (県公連)        |              |                  |
| 藤多 典子 (県婦協)        | 野田 政弘 (BS県連)  | 湊 義昌 (元県生涯セ)       |              |                  |
| 大島 淳光 (県PTA連)      | 野田 政弘 (BS県連)  | 安達 俊夫 (県生涯セ)       |              |                  |
| 宮 義一 (県青協)         | 野田 政弘 (BS県連)  |                    |              |                  |
| 川部 謙三 (生涯学習センターの会) | 野田 政弘 (BS県連)  |                    |              |                  |
| 山本 紀子 (講師の会)       | 野田 政弘 (BS県連)  |                    |              |                  |
| 谷内 正樹 (県教委)        | 野田 政弘 (BS県連)  |                    |              |                  |
| 石江 政信 (県公連)        | 野田 政弘 (BS県連)  |                    |              |                  |
| 湊 義昌 (元県生涯セ)       | 野田 政弘 (BS県連)  |                    |              |                  |
| 安達 俊夫 (県生涯セ)       | 野田 政弘 (BS県連)  |                    |              |                  |

平成二十四年度  
社会教育功労者表彰の方々

地域における社会教育活動に貢献  
松尾 桂子氏 (小松市)  
舟木 廣紀氏 (七尾市)

社会教育協会活動に貢献  
高西喜久松氏 (協会役員二十一年)  
松井 猛氏 (協会役員十六年)  
池本 藤祐氏 (協会役員十六年)  
林 よし枝氏 (協会役員十五年)  
堅田 稔氏 (協会役員十五年)  
山田 二郎氏 (協会役員十四年)

社教春秋

社会教育委員について

社会教育委員は、社会教育に関して教育委員会に助言するため、社会教育に関する諸計画を立案すること、諮問に応じ意見を述べること、必要な研究調査を行うことを職務としており、県、各市町で百七十五名が活動しています。

石川県においては、学校・家庭・地域を代表する十名を社会教育委員に任命し、年四回の会議を開催しています。

平成二十四年度は、「県民が心豊かに生きるための学習機会の充実」をテーマに、「学校教育を受けている世代」「働いている世代」「仕事を終えた世代」といった各世代ごとの学習の在り方と機会の提供について議論を重ねていただきました。そして、その内容をまとめたものを、県教育委員会会議へ報告いたしました。(報告内容については、県生涯学習課のホームページでも閲覧可能です。)

また、生涯学習・社会教育施策の推進についてもご意見をいただいております。今年度実施する「通学合宿」については、ここでの意見を元に施策として立ち上げたものです。

どうか、社会教育委員の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。  
(県生涯学習課 参事・谷内 正樹)

